

都市整備部

事業名	都市計画マスタープラン改訂業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備		
担当課名	都市計画課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

都市計画マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針である。また、地域別の課題に応じた整備方針、地域の都市活動等を支える諸施設の計画等をきめ細かく総合的に定めた市町村自らが定める都市づくりの上位計画である。
 現行のマスタープランは、平成22年に策定されたものであることから、本市を取り巻く社会経済環境や関連する上位計画等の現状に即した計画に改訂することで、事業等を計画的に実施し、より良い都市づくりを促進する。

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
地域に応じた都市機能が充実し、まちのにぎわいや魅力があると感じている市民の割合	%	9.70	15.0	15.0	15.0

◆参考情報

社会環境の変化及び関連する上位計画の状況
 平成23年度 都市計画区域の再編（下関北都市計画区域を指定）
 平成26年度 下関北バイパスの供用開始
 平成29年度 小月バイパス4車線化
 令和元年度 立地適正化計画 策定・公表（R2. 1月）
 令和2年度 総合計画後期基本計画策定
 都市計画区域マスタープランの策定（山口県）（R2. 12月）
 第6回区域区分定期見直し（山口県）（R2. 12月）

※R1「アンケート実施」 R2「全体構想の策定等」 R3「地域別構想の策定等」

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		5,532	7,000	10,000		
主要な経費	委託料	5,532	7,000	10,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	5,532	7,000	10,000		

事業名	まちなか再生宅地開発補助金		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備		
担当課名	都市計画課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

令和2年1月に策定した立地適正化計画の居住誘導施策は、届け出、勧告等により誘導区域内への居住を促進するものであるが、誘導先となる既存市街地は、街並みが古く接道要件を満たさない狭隘道路となっているなど課題を抱える地域が多い。こうした狭隘道路の拡幅や老朽家屋の解体に要する費用が多額となることに併せて地価が高いことなどが、民間による開発が進展しない要因となっている。このことから、全市的にコンパクトなまちづくりを進めるため、居住誘導区域内において狭隘道路などの課題を解消し、良好な住環境を確保する開発工事費用の一部を補助することで民間開発を促進し、まちなか再生を図り居住誘導区域内の人口密度の維持を図る。

また、令和3年度より補助金の採択要件を見直すことで、更なる利活用を図る。

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
居住誘導区域内で当該補助金を活用した開発の件数	件	—	3	1件以上	3

◆参考情報

関連する計画や施策

令和元年度 立地適正化計画 策定・公表（R2. 1月）
立地適正化計画の届出開始（R3. 1現在 届け出11件）（R2. 3月）
「下関市開発行為等の許可の基準に関する条例」の改正（R4. 4月施行）

令和2年度 都市計画区域マスタープランの策定（山口県）（R2. 12月）
第6回区域区分定期見直し（山口県）（R2. 12月）

令和3年度以降 下関市都市計画マスタープランの改訂

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			6,000	2,000	2,000	2,000
主要な経費	補助金		6,000	2,000	2,000	2,000
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 （基金繰入金）		5,000			
	一般財源		1,000	2,000	2,000	2,000

事業名	都市景観形成推進業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費		
総合計画の体系	第4章 第2節 良好な景観の形成		
担当課名	都市計画課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

下関市景観条例等の円滑な運用及び下関市景観計画に基づく景観誘導により、市民・事業者・行政の役割分担のもとで、官民一体となった景観形成の推進を図る。

令和3年度は、国道9号沿いの下関花いっぱい計画や夜の景観照明事業（下関駅前イルミネーション）及び下関市景観賞を実施し、潤いのある良好な景観形成の推進を図る。

また、これらの都市景観形成推進業務の実施やパンフレット、広報誌、ホームページ、SNS等の取組を通じて、景観形成についての市民意識の向上を図る。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
下関らしい豊かで潤いのある景観づくりが推進されていると感じている市民の割合	%	24.5	32.0	32.0	32.0

◆参考情報

○花いっぱい計画（令和2年度実績）

場所：JR下関駅周辺から唐戸にかけての国道9号沿線の約2kmの花壇
 期間：（春）新型コロナウイルス感染症予防のため中止
 （秋）一斉の花の植え付け

○夜の景観照明事業【下関駅前イルミネーション】（令和2年度実績）

場所：下関駅前人工地盤
 期間：11月下旬～1月中旬

○下関市景観賞（令和2年度実績）

（「景観フォトコンテスト部門」、「景観デザイン部門」、「景観まちづくり活動部門」）
 募集対象：下関市内
 期間：7月～12月



◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		5,529	5,491	5,517	未定	未定
主要な経費	花いっぱい計画花苗等購入費	2,058	2,365	2,407		
	夜の景観照明事業補助金	1,603	1,250	1,250		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源（基金繰入金）	500				
	一般財源	5,029	5,491	5,517		

事業名	公共交通機関整備推進業務（バス交通）		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 交通対策費		
総合計画の体系	第5章 第2節 公共交通の整備		
担当課名	交通対策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

公共交通機関であるバス交通について、生活に必要な移動手段を確保するため、路線バス及び廃止路線代替バスにおける経常欠損額に対する補助や、ノンステップバス導入支援により利用者の利便性向上を図る。

菊川、豊田、豊北総合支所管内で自家用有償運送として運行している市生活バスについては、平成30年度から開始した1乗車100円とする1コイン化を継続し、気軽に身近な移動手段として定着を図るとともに利用者増及び地域内・地域間交流の活性化を図る。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
人口に対するバスの利用率	%	13.4	13.9	14.1	

◆参考情報

市生活バス利用者数推移 (単位：人)

	H27	H28	H29	H30	R1
菊川	16,492	14,489	13,240	14,113	12,752
豊田	2,892	2,379	1,832	2,485	2,993
豊北	1,357	1,401	1,599	2,437	2,075
合計	20,741	18,269	16,671	19,035	17,820

	R1.12月 末まで	R2.12月 末まで	前年比
菊川	9,974	9,081	91%
豊田	2,352	1,766	75%
豊北	1,642	1,522	93%
合計	13,968	12,369	89%

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		373,908	409,061	345,274	未定	未定
主要な経費	廃止路線代替バス運行事業費補助金	108,638	92,000	92,000		
	地方バス路線維持費補助金	214,571	200,000	200,000		
	生活バス運行委託料	50,256	53,063	52,574		
財源	国庫・県支出金	32,108	32,516	33,468		
	市債					
	その他特定財源 (使用料、基金繰入金)	47,507	91,594	38,311		
	一般財源	294,293	284,951	273,495		

事業名	安岡地区複合施設整備事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 複合施設整備事業費		
総合計画の体系	第8章 第4節 行財政の健全化		
担当課名	市街地開発課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

安岡公民館・安岡支所は、安岡地区のまちづくりの拠点として多くの市民に利用されているが、築後50年を超え老朽化が著しいことや避難所としての安全性の確保が課題となっていることから、園芸センター敷地に、コミュニティー施設、支所、図書館及び園芸センターが一体となった複合施設を整備する。また、自然豊かな公共空間の周辺に、園芸センターの余剰地を活用して、民間主導で住環境を整備し、便利で豊かな生活が出来るコンパクトで賑わいのあるまちづくりを官民連携して推進する。

令和2年度は、複合施設の整備に必要な調査を行い、PFI手法による事業実施が有利と見込まれたことから、専門的知識等の支援を受けるアドバイザー業務を実施している。

令和3年度は引き続きアドバイザー業務を進め、PFI事業を実施するために必要な実施方針・要求水準書の策定、PFI事業者の公募から契約締結までの一連の業務を行う。

◆施設の概要、計画等

○ 事業スケジュール

R2年度

- ・PFI導入可能性調査業務
- ・土質調査業務
- ・埋蔵文化財調査業務
- ・PFIアドバイザー業務：令和2年度から令和3年度末まで

R3年度

- ・PFIアドバイザー業務：令和2年度から令和3年度末まで
(PFI審査委員会、実施方針・要求水準書の策定、PFI事業者の公募から契約締結までの支援)
- ・境界確定測量業務

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			17,000	44,800	未定	未定
主要な経費	導入可能性調査等		17,000			
	アドバイザー業務			29,000		
	境界確定測量業務			15,000		
財源	国庫・県支出金			6,750		
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		15,000			
	一般財源		2,000	38,050		

事業名	密集市街地環境整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備		
担当課名	市街地開発課	開始年度	平成30年度

◆事業の概要

平成28年12月22日新潟県系魚川市における大規模火災をうけ、本市においても大規模な延焼火災が発生し得る密集市街地の有無を確認し、未然に防災対策を講ずる必要がある。

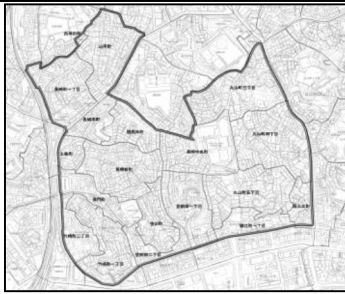

平成30年度より、防災や住環境の改善などの観点から現況調査を行い、事業を実施する重点整備地区を決定し、地権者の意向を確認しながら寄附対象物件（土地及び建築物）の調査、老朽建築物の除却等を行った。

令和3年度は、寄附対象物件の調査等を引き続き行うとともに、調査等により寄附を受けた老朽建築物を除却し、除却後の土地を防災空地として整備を行い、防災性の向上と良好な住環境の形成を目指す。

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
老朽建築物除却件数	件		5	1件以上	

◆参考情報

重点整備地区（約66.2ha）	老朽建築物（イメージ）除却
<p>【対象町名】 西入江町、細江町一丁目の一部、豊前田町一丁目、豊前田町二丁目の一部、丸山町三丁目の一部、丸山町四丁目、丸山町五丁目、関西本町、長崎本町、長崎新町、長崎中央町、笹山町、上条町の一部、長崎町一丁目、西神田町の一部、山手町、長門町の一部、竹崎町一丁目の一部、竹崎町二丁目の一部</p> 	

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		178	13,000	10,731	未定	未定
主要な経費	委託料	178	6,000	2,400		
	用地整備工事		1,000	500		
	解体撤去工事		6,000	7,800		
財源	国庫・県支出金		4,000	2,300		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	178	9,000	8,431		

事業名	乃木浜総合公園整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費		
総合計画の体系	第5章 第4節 公園・緑地の整備		
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成21年度

◆事業の概要

本市のスポーツ・レクリエーション需要に対応した中核的な総合公園を目指すとともに、現在山陽地区で不足している運動施設の早期充実を図る。
 また、市民の憩いの広場を提供することにより健康増進や地域コミュニティの形成に資するため、広場及び緑地の整備を行う。
 令和3年度は、第3多目的グラウンド、主園路等の整備を行う。

◆施設の概要、計画等

【施設整備】

①運動施設

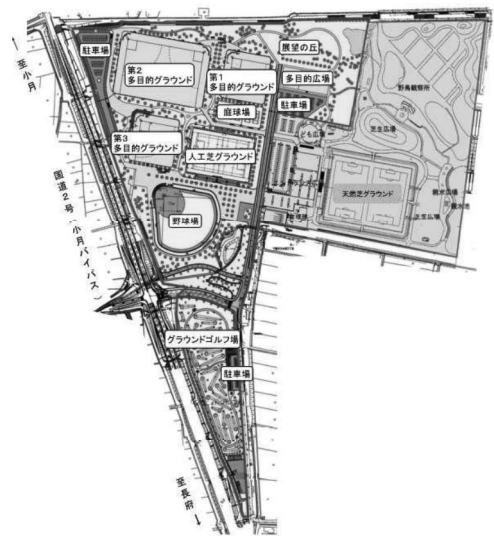
- 多目的グラウンド（大1、小2）
- 人工芝グラウンド（1面）
- 庭球場（5面）、野球場（1面）
- グラウンドゴルフ場（4コース、32ホール）
- ※令和3年春供用開始予定

②多目的施設

- 展望の丘、園路等

③便益施設

- トイレ（3箇所）



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		241,322	178,500	73,500	210,000	210,000
主要な経費	工事請負費	223,932	170,000	70,000	200,000	200,000
	事務費	13,691	8,500	3,500	10,000	10,000
	委託料	3,699				
財源	国庫・県支出金	111,966	85,000	35,000	100,000	100,000
	市債	113,000	84,100	34,600	99,000	99,000
	その他特定財源					
	一般財源	16,356	9,400	3,900	11,000	11,000

事業名	新総合体育館整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費		
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興		
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成30年度

◆事業の概要

本市スポーツ振興の中心的拠点となり、イベント等も開催できる総合体育館の整備を行い、スポーツ活動の推進及び環境の整備・充実を図る。
 令和2年度は、PFI手法を導入するためアドバイザーの支援を受けつつ、PFI事業審査委員会の審査を踏まえ、特定事業の選定、事業者の募集等を行った。
 令和3年度は、事業契約を締結し、設計、建設、工事監理、維持管理及び運営の各業務で構成する下関市新総合体育館整備に着手する。これに伴い、事業者が提供するサービスの水準を測定・評価するPFIモニタリング業務を開始する。また、下関駅・東駅線(歩道)の整備及び誘導サイン設置のための測量・設計業務を実施する。

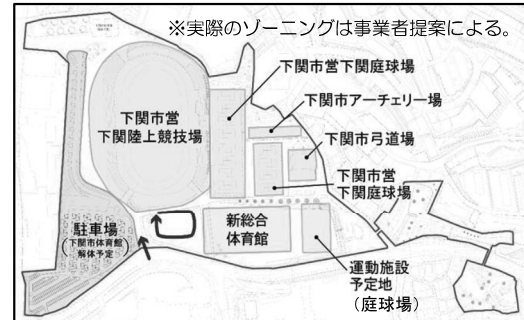
◆施設の概要、計画等

- PFI事業の名称
下関市新総合体育館整備事業
- 事業対象
新総合体育館、下関運動公園駐車場：新設
下関市営下関庭球場：増設
下関市体育館、下関市相撲場：解体・撤去
- 事業方式
BTO方式（維持管理・運営期間は約15年間）
- 事業期間
事業契約日（R3年6月頃）から
R21年3月31日まで
- 事業費（債務負担行為額）
限度額：9,330,000千円
期間：R3年度からR20年度まで

○事業スケジュール(予定)

	R3	R4	R5	R6	R20
設計	→				
新総合体育館建設		→	→	→	
既存体育館解体等				→	
維持管理・運営					→

○参考(基本計画ゾーニング図)



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		15,630	28,000	20,000	9,000	6,500
主要な経費	委託料	14,536	26,400	20,000	9,000	6,500
	報酬		200			
	事務費	1,094	1,400			
財源	国庫・県支出金			2,250		
	市債			2,400		
	その他特定財源(基金繰入金)		24,000			
	一般財源	15,630	4,000	15,350	9,000	6,500

港湾局

事業名	航路誘致集貨対策業務（集貨・コンテナ・客船）		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 管理費 総務費		
総合計画の体系	第5章 第6節 港湾の振興		
担当課名	振興課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

東アジアとのゲートウェイである下関港の一層の港勢拡大に向け、航路誘致や集貨活動及び客船誘致活動を推進するための国内外でのポートセールスの実施やポートセミナーを開催するもの。

【令和3年度の主な業務】

- ・国内集貨セミナー・物流展出展・セールス
- ・海外集貨セミナー・セールス
- ・客船誘致活動



- a) 国内客船受入業務 b) 外国客船受入対応関係業務
- ・下関港利用トライアル補助金
 - ・下関港くん蒸待機費用補助金

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
輸出入貨物量	万 t	221	280	280	

◆参考情報

・輸出入貨物量実績（暦年）		・クルーズ客船寄港実績（暦年）	
平成29年	261万 t	平成29年	57回
平成30年	244万 t	平成30年	37回
令和元年	221万 t	令和元年	23回

◆予算情報

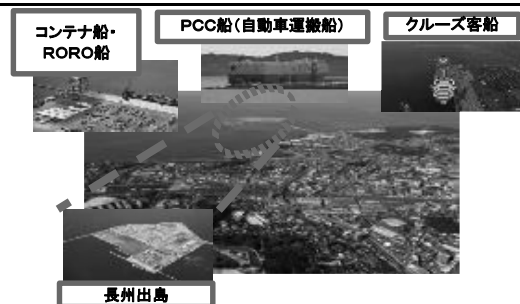
（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		33,293	74,676	88,862	未定	未定
主要な経費	下関港利用トライアル補助金		3,000	4,000		
	下関港くん蒸待機費用補助金		1,500	1,500		
	委託料（外国客船受入対応関係業務 他）	25,848	58,211	76,357		
財源	国庫・県支出金		1,400	15,000		
	市債					
	その他特定財源	33,293	73,276	73,862		
	一般財源					

事業名	新港地区整備事業推進業務		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 管理費 総務費		
総合計画の体系	第5章 第6節 港湾の振興		
担当課名	振興課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

下関港の新たな国際物流拠点を目指し、制約の少ない関門海峡の外側である新港地区に沖合人工島・長州出島を整備しており、平成21年に一部供用を開始している。本業務は、長州出島の利便性を向上し、利用促進を図るもの。



【令和3年度の主な業務】

- ・長州出島利用促進支援業務

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
利用隻数	隻	134	220	220	

◆参考情報

【長州出島接岸実績】

令和元年度	大型クルーズ客船	18隻
	コンテナ船・RORO船	100隻
	PCC船（自動車運搬船）他	16隻

◆予算情報

（単位：千円）


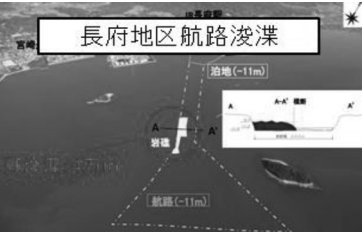
年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		8,758	7,761	6,452	未定	未定
主要な経費	下関港長州出島外貿コンテナ促進支援補助金	4,804				
	下関港長州出島利用促進補助金	1,000	3,000	2,000		
	委託料（警戒業務・資料作成業務）	2,798	4,586	4,279		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源	8,758	7,761	6,452		
	一般財源					

事業名	港湾施設整備事業		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 改修事業費		
総合計画の体系	第5章 第6節 港湾の振興		
担当課名	施設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

老朽化が進む臨港道路、橋梁、岸壁、防波堤等の港湾施設の改修や補修等を行うもの。

◆施設の概要、計画等

○本港地区	岸壁（-13m、-10m、-9m、-4.5m）改良 臨港道路（幅員W=6.5~15m）改良 利便性施設整備、保安対策施設整備	 <p>東港地区 栈橋改修</p>
○岬之町地区	岸壁（-5.5m）改良	
○長府地区	臨港道路（幅員W=25m）整備、橋梁改良 防波堤改良（防食工）、小型船だまり整備 岸壁（-11m）、泊地（-11m）、 航路（-11m）整備	 <p>長府地区 航路浚渫</p>
○東港地区	栈橋改修	
○西山地区	保安対策施設整備	
○下関港港湾管理者情報システム再構築		

【令和3年度の主な事業】

- ・長府地区航路浚渫工事
- ・唐戸栈橋改修工事
- ・本港地区道路整備工事
- ・東港地区道路整備工事

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		588,919	337,000	343,650	135,200	157,100
主要な経費	臨港道路・橋梁改良	336,702	48,600	89,650	10,100	85,100
	岸壁・防波堤改良			4,200	10,100	10,000
	利便性向上施設・保安対策施設整備・航路浚渫等	252,217	288,400	249,800	115,000	62,000
財源	国庫・県支出金	285,884	150,100	136,900	62,400	62,550
	市債	285,700	176,400	195,000	68,400	89,100
	その他特定財源	17,335	10,500	11,750	4,400	5,450
	一般財源					

事業名	国直轄事業（港湾）		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 改修事業費		
総合計画の体系	第1章 第3節 みなとのにぎわいの創出、第5章 第6節 港湾の振興		
担当課名	経営課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

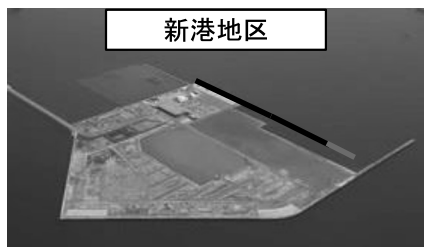
国直轄事業により、下関港新港地区(長州出島)の国際物流ターミナルを整備するもの。
 また、大型クルーズ客船の受入体制の強化を図るため、国際クルーズ拠点の形成を目的とした旅客船専用岸壁を整備するもの。

◆施設の概要、計画等

○新港地区 護岸(防波) L=300m、岸壁(-12m) L=920m、
 防波堤(南) L=240m、道路L=1,149m、
 橋梁=1基、泊地(-12m) A=258千㎡

【令和3年度の主な事業】

- ・新港地区 岸壁(-12m)整備 ケーソン製作・据え付け 3基



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		450,000	1,215,000	720,000	855,000	292,500
主要な経費	国直轄事業負担金(新港地区)	225,000	900,000	720,000	855,000	292,500
	国直轄事業負担金(西山地区)	225,000	315,000			
財源	国庫・県支出金	22,500	60,750	36,000	42,750	14,650
	市債	405,000	1,093,500	648,000	769,500	263,200
	その他特定財源	22,500	60,750	36,000	42,750	14,650
	一般財源					

事業名	高潮対策事業		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 海岸保全施設整備事業費		
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備		
担当課名	施設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

過去に高潮被害を受けた王喜地区から王司地区及び壇ノ浦地区、巖流島地区において海岸保全施設（堤防）の嵩上げ等の整備を行うもの。

◆施設の概要、計画等

○海岸保全施設整備

王司地区 L=3,350m
 清末地区 L=1,353m 完了
 王喜地区 L= 983m 完了
 壇ノ浦地区 L= 393m 完了
 巖流島地区 L=1,609m 完了



【令和3年度の主な事業】

- ・山陽地区 王司地区堤防（改良）工事 L=120m

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		94,900	127,100	127,100	127,100	127,100
主要な経費	王司地区施設整備	89,400	120,000	120,000	120,000	120,000
	事務費	5,500	7,100	7,100	7,100	7,100
財源	国庫・県支出金	46,950	63,000	63,000	63,000	63,000
	市債	45,100	60,300	60,300	60,300	60,300
	その他特定財源	2,850	3,800	3,800	3,800	3,800
	一般財源					

事業名	国直轄事業（海岸）		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 海岸保全施設整備事業費		
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備		
担当課名	経営課	開始年度	平成20年度

◆事業の概要

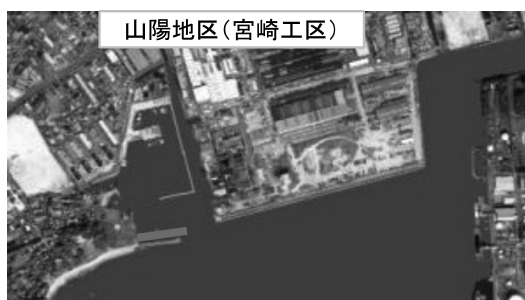
関門海峡沿いから山陽地区にいたる海岸地域は、平成11年の台風18号を初め、過去たびたび高潮による家屋及び事務所の浸水等の被害を受けてきた。このため、平成20年度より地域の住民や企業の生命・財産などを守るために、長府・壇ノ浦地区並びに山陽地区において、国直轄により海岸保全施設整備事業が着手され、現在、長府扇町の一部及び「壇ノ浦コースト」と命名された壇ノ浦・みもすそ川地区や長府外浦地区の護岸が完成するなど、早期完成を目指し整備が進められている。

◆施設の概要、計画等

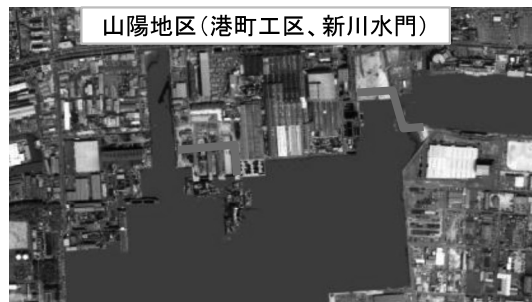
- 整備区間 長府・壇ノ浦地区並びに山陽地区
- 事業年度 平成20年度～令和10年度
- 整備概要 護岸改良（胸壁含む） 約13km、水門 5基、陸閘 25基

【令和3年度の主な事業】

- ・山陽地区 護岸（改良）L=141m、胸壁設置 L=515m
本土工 L=121m、陸こう設置 2基



山陽地区(宮崎工区)



山陽地区(港町工区、新川水門)

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		722,999	550,000	550,000	550,000	550,000
主要な経費	国直轄事業負担金	722,999	550,000	550,000	550,000	550,000
財源	国庫・県支出金					
	市債	673,500	495,000	495,000	495,000	495,000
	その他特定財源	49,499	55,000	55,000	55,000	55,000
	一般財源					

事業名	緑地整備事業（新港地区）		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 環境整備事業費		
総合計画の体系	第5章 第6節 港湾の振興		
担当課名	施設課	開始年度	平成26年度

◆事業の概要

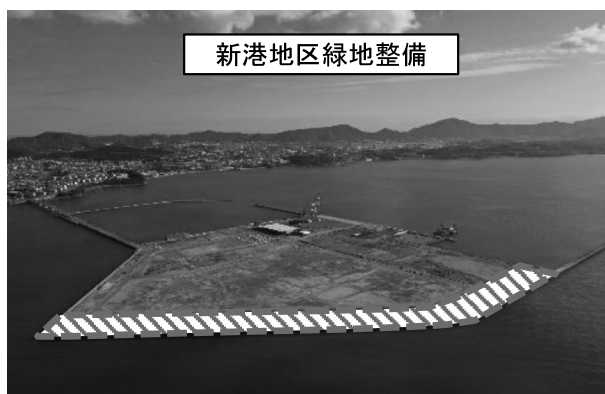
新港地区・長州出島の産業振興用地における企業の立地環境の向上を図るため、また国際旅客船拠点のターミナルや関連施設を越波・飛沫・風から防護するため、外海に面する護岸背後に幅約70mの緩衝緑地（防風・防潮）を整備するもの。

◆施設の概要、計画等

- 事業年度 平成26年度
～令和5年度
- 整備面積 緩衝緑地 A=7.2ha

【令和3年度の主な事業】

- ・緑地整備工事 一式



◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		195,600	415,900	313,400	209,900	158,200
主要な経費	緑地整備	188,440	400,000	300,000	200,000	150,000
	事務費	7,160	15,900	13,400	9,900	8,200
財源	国庫・県支出金	98,125	210,000	157,500	105,000	78,750
	市債	91,100	194,300	147,000	98,900	74,800
	その他特定財源	6,375	11,600	8,900	6,000	4,650
	一般財源					

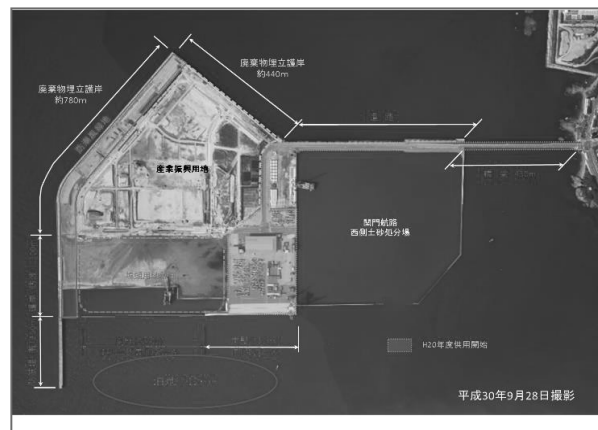
事業名	新港地区ふ頭用地整備事業		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 新港地区ふ頭用地整備事業費		
総合計画の体系	第1章 第3節 みなとのにぎわいの創出、第5章 第6節 港湾の振興		
担当課名	施設課	開始年度	平成29年度

◆事業の概要

新港地区（長州出島）は、コンテナ船やRORO船、PCC船が利用する国際物流拠点であるが、大型クルーズ客船の寄港により、効率的な荷役の実施に影響を及ぼしている。荷役の効率化の確保と、クルーズ旅客の利便性の確保の両立を図るため、「国際旅客船拠点形成港湾」の指定を受け、国際クルーズ拠点の運用開始に向けて、民間事業者との協定を締結した上で官民連携事業を推進するもの。

◆施設の概要、計画等

- 事業年度
平成29年度～令和4年度
- 施設概要
クルーズ客船専用岸壁背後ふ頭用地
- 【令和3年度以降の主な事業】
ふ頭用地地盤改良、舗装
(令和元年度～令和4年度継続費設定)
【継続費総額：2,500,000千円】



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		352,600	590,000	510,000	540,000	
主要な経費	ふ頭用地整備	343,924	585,000	506,000	535,000	
	事務費	8,676	5,000	4,000	5,000	
財源	国庫・県支出金					
	市債	352,600	590,000	510,000	540,000	
	その他特定財源					
	一般財源					

事業名	臨海土地管理・売却業務		
予算区分	臨海特別会計	臨海土地造成事業費	臨海土地造成事業費
総合計画の体系	第5章 第6節 港湾の振興		
担当課名	経営課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

保有する造成地の売却、貸付及び適正な維持管理を行うもの。

【令和3年度の主な業務】
下関港新港地区（長州出島）の産業振興用地の早期売却を進めるため、引き続き「成功報酬型土地売却仲介業務委託」を活用した営業活動を行う。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
新港地区（長州出島） 産業振興用地の分譲率 ※面積ベース	%	15.5	16.7 (7.9)	22.8	100.0

◆参考情報

【新港地区(長州出島)土地売却実績】

物流ゾーン	①	5,420 m ²
	③	5,848 m ²
	⑤	5,850 m ²
	⑥	5,722 m ²
	⑦	5,722 m ²
	⑧	5,812 m ²
	⑫-1	2,666 m ²
	7筆	37,040 m ²

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		23,323	31,737	45,970	未定	未定
主要な経費	成功報酬型土地売却仲介業務委託		15,000	15,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源	23,323	31,737	45,970		
	一般財源					


菊川総合支所

事業名	観光宣伝業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

菊川地区の観光振興を目的とし、道の駅きくがわを観光拠点とした観光情報の発信と、夏まつり花火大会などのイベント開催や菊川手延そうめん製造50周年記念イベント事業補助などにより交流人口の拡大を図る。

また、菊川自然活用村については、利用者が安全に自然を楽しめるよう芝生広場進入路の補修など周辺環境の維持管理を実施する。




◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
菊川地区の観光客数	人	472,631	470,000	470,000	

◆参考情報

菊川地区の観光客数 (単位:人)

年度	観光客数	年度	観光客数
H20	430,446	H26	435,026
H21	394,460	H27	462,659
H22	405,950	H28	453,606
H23	403,763	H29	484,493
H24	449,169	H30	472,567
H25	445,584	R 1	472,631



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		4,868	5,946	6,919	未定	未定
主要な経費	委託料	1,951	3,207	2,926		
	地域イベント助成事業補助金	2,037	2,037	3,280		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源(財産収入)	1,500	1,000	895		
	一般財源	3,368	4,946	6,024		

豊田総合支所

事業名	にぎわいのまちづくり促進事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成30年度

◆事業の概要

下関市豊田町及び豊北町において、空き家及び空き店舗等を活用して新たに事業を開始しようとする者に対し、その事業に要する費用の一部を補助する。



活用イメージ



(※豊田町については、まちの魅力創出・強化プロジェクト事業に再掲)

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
補助の実施件数	件	1	2	2	

◆参考情報

(対象者)

豊田・豊北町内の空き家や空き店舗等を活用し、事業を開始しようとする法人又は個人事業者

(支援の内容)

事業に要する経費

空き家の改修等及び賃借料、機器・設備等の購入、賃借、リース等に要する経費等
補助対象経費の1/2以内 上限1,000千円

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		1,000	2,000	2,000	未定	未定
主要な経費	補助金	1,000	2,000	2,000		
財源	国庫・県支出金	500	500	500		
	市債	500		1,500		
	その他特定財源					
	一般財源		1,500			

事業名	まちの魅力創出・強化プロジェクト事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興		
担当課名	地域政策課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

道の駅「蛸街道西ノ市」を観光交流拠点として、豊田地区の観光の魅力を年間を通し多方面へ発信する。また、豊田の観光資源である「ホテル」を活用した鑑賞イベント「日本初のホテル舟」の舟を新たに製造し、増便することで交流人口の拡大を図るとともに、令和元年度に策定した戦略に沿って、豊田地区の代表的な果物である梨等を使用した新商品の開発や地域製品のPRを行い、認知度を高めて販路拡大を図る。さらに、空き店舗や空き家を活用し事業所の開設のための補助を行うことでにぎわいの創出を図るなど、地方創生推進交付金事業を活用した新たな事業の取組や地域イベントの拡充を行う。



「道の駅 蛸街道西ノ市」



「日本初のホテル舟」

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
豊田地区の観光客数	人	894,454	1,050,000	1,050,000	

◆参考情報

豊田地区 観光客数の推移

(単位:人)

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
922,453	965,569	980,655	1,016,719	1,043,494	916,896	874,657	836,185	894,454

◆予算情報

(単位:千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		13,848	28,700	25,800		
主要な経費	地域イベント助成事業等補助金	8,651	11,800	11,800		
	ホテル舟製造等		13,900	9,000		
	豊田産品新商品開発及びPR事業等委託料	5,197	3,000	5,000		
財源	国庫・県支出金	6,924	14,350	12,900		
	市債	6,900	13,500	12,800		
	その他特定財源					
	一般財源	24	850	100		

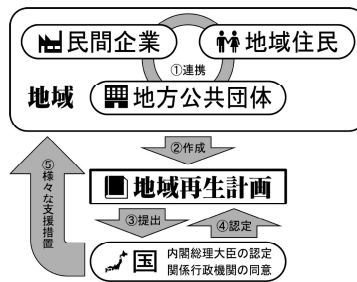
豊浦総合支所

事業名	豊浦地域〔川棚温泉エリア〕再生計画策定プロジェクト		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興		
担当課名	地域政策課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

地方創生推進交付金の活用を図るため、令和2年度より、豊浦地域〔川棚温泉エリア〕を拠点に活動する市民15人を委員とする会議を通じ、地域の再生に必要な意見の聴取、事業アイデア及び事業手法の検討等、地域再生計画の作成に向けた取組を行っている。

令和3年度においては、特に、事業手法の具現化、事業実施体制の構築を進めるとともに、これら取組の成果を盛り込んだ地域再生計画を作成し、国への認定申請を行う。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
地域再生計画の作成			会議開催	会議開催 計画作成	会議開催 計画作成

◆参考情報

【令和2年度の実施状況】

- 第1回～第4回プロジェクト会議の開催
R2.5月、9月、11月、R3.2月（予定）
- 課題・事業アイデアの検討等
 - (1) 課題の件数 : 35件
 - (2) 事業アイデアの件数 : 92件
 - (3) 内容 … ① 課題の抽出・共有
② 地域が目指す方向性の決定
③ 事業化が可能な事業アイデアの絞込
④ 事業手法の具現化

【令和3年度の実施内容】（時期は予定）

- 第5回～第8回プロジェクト会議の開催
R3.4月～9月（上半期）
〔協議内容〕 ① 事業手法の具現化
② 事業実施体制の構築
- 地域再生計画の作成・提出
 - (1) 素案作成 … R3. 7月下旬
 - (2) 計画決定 … R3.1 2月下旬
 - (3) 認定申請 … R4. 1月

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			500	459		
主要な経費	報償費		396	396		
	需用費・役務費		76	38		
	使用料及び賃借料		28	25		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		500	459		

事業名	観光宣伝業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

観光宣伝業務では、豊かな自然・景観・歴史的資源及び食文化等を効果的に活用するとともに、各種イベントの開催等を通じてにぎわいの創出及び交流人口の拡大を図り、豊浦地区の持つ観光資源の魅力をPRする。

また、市民と来訪者の交流の場として設置された下関市川棚温泉交流センターの開館10周年記念事業として、世界的に有名なピアニストで川棚温泉に所縁のある、アルフレッド・コルトー氏に関連した記念コンサート及び寄贈絵画除幕式を行い、川棚温泉及び交流センターを広くPRすることにより来訪者の増加を図る。



川棚温泉交流センター

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
豊浦地区の観光客数	人	588,476	597,400	606,700	616,000

◆参考情報

豊浦地区の観光客数（実績）

令和元年 588,476人
 平成30年 596,770人
 平成29年 597,729人
 平成28年 557,607人
 平成27年 608,467人



豊浦コスモスまつり

◆予算情報

（単位：千円）

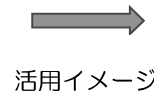
年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		12,240	14,327	13,833	未定	未定
主要な経費	地域イベント助成事業補助金	7,773	8,474	7,980		
	観光協会補助金	2,612	2,666	2,666		
	イベント開催委託等		3,187	3,187		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源（財産収入）	9,786	6,638			
	一般財源	2,454	7,689	13,833		

豊北総合支所

事業名	にぎわいのまちづくり促進事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成30年度

◆事業の概要

下関市豊田町及び豊北町において、空き家及び空き店舗等を活用して新たに事業を開始しようとする者に対し、その事業に要する費用の一部を補助する。



活用イメージ



(※豊田町については、まちの魅力創出・強化プロジェクト事業に再掲)

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
補助の実施件数	件	1	2	2	

◆参考情報

(対象者)

豊田・豊北町内の空き家や空き店舗等を活用し、事業を開始しようとする法人又は個人事業者

(支援の内容)

事業に要する経費

空き家の改修等及び賃借料、機器・設備等の購入、賃借、リース等に要する経費等
補助対象経費の1/2以内 上限1,000千円

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		1,000	2,000	2,000	未定	未定
主要な経費	補助金	1,000	2,000	2,000		
財源	国庫・県支出金	500	500	500		
	市債	500		1,500		
	その他特定財源					
	一般財源		1,500			

事業名	観光宣伝業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

豊北地区の玄関口の1つである滝部駅を交流拠点として、旬の地域情報の発信や、地元の高校や各種団体等と連携しての交流イベントを実施するなど観光宣伝を充足する。

さらに、観光振興団体、観光イベント等への支援により、交流人口の拡大に寄与する。

また、観光地として全国的に有名である角島・角島大橋周辺においては、国指定重要文化財「角島灯台」のライトアップにより、夜間景勝のスポット化を進めるとともに、地域住民や観光客への安全対策を強化し、おもてなし向上を図る。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
豊北地区への観光客数	千人	1,009	1,130	1,130	

◆参考情報

単位：人				
H22	H23	H24	H25	H26
501,751	462,465	828,413	888,640	920,826
H27	H28	H29	H30	R1
1,012,575	1,071,032	1,127,740	1,061,022	1,008,735



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		8,238	7,220	5,618	未定	未定
主要な経費	地域イベント助成事業等補助金	4,217	4,112	3,932		
	角島灯台ライトアップ経費	822	532	420		
	委託料（角島灯台ライトアップ除く）	3,116	2,504	1,200		
財源	国庫・県支出金					
	市債	6,700	6,500	5,400		
	その他特定財源					
	一般財源	1,538	720	218		

消防局

事業名	救急業務高度化整備事業		
予算区分	一般会計 消防費 消防費 常備消防費・消防施設費		
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進		
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

高度救命処置用資機材を積載した高規格救急自動車を更新し、これらを運用する救急救命士を養成することで、市民に対する応急手当の質の向上を図る。

救急活動（訓練）



◆施設の概要、計画等

- 1 令和3年度高規格救急自動車更新計画2台
 豊浦東消防署 (前回H26.11更新)
 豊浦東消防署菊川出張所 (前回H26.11更新)
 (下関市消防局救急隊10署所10隊 車両13台)
 ※13台のうち非常用車両3台
- 2 令和3年度救急救命士の養成
 救急救命九州研修所 2人
 (配置計画 各救急隊に6人の計60人)

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		40,389	76,274	76,293	40,642	76,642
主要な経費	高規格救急自動車購入及び救急救命士養成	40,389	76,274	76,293	40,642	76,642
財源	国庫・県支出金					
	市債	33,200	72,000	72,000	36,000	67,200
	その他特定財源					
	一般財源	7,189	4,274	4,293	4,642	9,442

事業名	消防車両等整備事業		
予算区分	一般会計 消防費 消防費 常備消防費・消防施設費		
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進		
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

国の示す消防力の整備指針を目標として、災害態様に即した常備消防車両等の整備（特殊消防車両の新規導入や車両装備の見直し等）に取り組みながら、消防車両の安全基準に基づく、はしご付消防自動車のオーバーホール等を行い、消防車両等を適正管理するとともに、耐用年数を経過した車両等を計画的に更新整備する。

指揮指令車（現状）



◆施設の概要、計画等

- 令和3年度更新計画
指揮指令車 北消防署（前回H14.2更新）
車両全体の老朽による更新（配備から19年経過）
- はしご付消防自動車のオーバーホール（分解・点検・修理）
北消防署勝山出張所配備のはしご付消防自動車（平成25年3月購入）
「消防自動車の安全基準」に基づき、実施するもの

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		43,890	209,750	47,540	178,640	188,320
主要な経費	車両購入費等	43,890	209,750	47,540	178,640	188,320
財源	国庫・県支出金	10,000				
	市債	30,200	174,000	4,500	126,800	174,400
	その他特定財源					
	一般財源	3,690	35,750	43,040	51,840	13,920

事業名	消防団充実強化事業		
予算区分	一般会計 消防費 消防費 非常備消防費・消防施設費		
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進		
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

耐用年数を経過した消防団車両等の計画的な更新整備、老朽・狭隘な消防機庫の計画的な改築（統廃合）及び消防団装備品の充実強化を図る。

彦島分団第2部消防機庫



◆施設の概要、計画等

- 1 令和3年度消防機庫改築等計画
 - ・改築消防機庫（建替え） 1棟
彦島分団第2・7部（西山）
- 2 令和3年度消防団車両等更新計画
 - ・小型動力ポンプ 2台
豊田中分団第4部（秋葉）、西市分団第3部（榎原）
 - ・小型動力ポンプ積載車（軽） 3台
角島分団第2部（前方）、殿居分団第2部（殿居）、豊田中分団第2部（八道）
- 3 令和3年度消防団装備品配備計画
 - ・ヘルメット、耐切創用手袋、活動服、防火衣等の安全装備品の配備

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		131,705	198,971	96,895	202,105	202,105
主要な経費	消防機庫の改築	68,301	126,000	71,600	138,236	138,236
	消防車両等購入費	56,117	58,200	13,600	58,600	58,600
	教育及び装備品	7,287	14,771	11,695	5,269	5,269
財源	国庫・県支出金		2,000	5,000		
	市債	124,900	158,100	82,800	162,900	162,900
	その他特定財源 （諸収入）		27,900	1,000	1,000	1,000
	一般財源	6,805	10,971	8,095	38,205	38,205

教育委員会

事業名	名陵中学校区新しい学校づくり		
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費 / 小学校費 学校管理費 / 小学校費 学校建設費 / 中学校費 学校管理費 / 中学校費 学校建設費 / 保健体育費 学校給食共同調理場費		
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上		
担当課名	教育政策課 / 学校支援課 / 学校保健給食課	開始年度	令和3年度

◆事業の概要

下関市立学校適正規模・適正配置基本計画に基づき、下関市立名池小学校・王江小学校・名陵中学校の3校を統合し、名陵学園（隣接型小中一貫教育校）を令和4年4月に開校するため、新たな学園章、学園歌の作成に関連する経費や児童増に伴う校舎の改修等を行う。

- 報償費（学園歌の作詞・作曲者等報償金）
- 消耗品（閉校記念品・展示パネル・食器類）の購入
- 委託料（看板等作成・物品移転・廃棄物処理）
- 校舎改修工事（教室等改修工事、学園章改修）
- 備品（体育館幕・学園旗・公印・学園歌額・食缶）の購入


◆施設の概要、計画等

○第3期 下関市立学校適正規模・適正配置基本計画（適正化モデル）

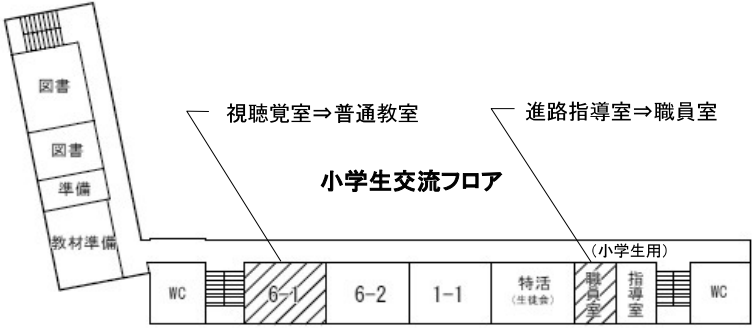
対象校	小中一貫教育	学校位置 ^{※1}
<input type="checkbox"/> 王江小 <input type="checkbox"/> 名池小 <input checked="" type="checkbox"/> 名陵中	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 名池小 <input checked="" type="checkbox"/> 名陵中

※1 学校位置は、統合前の学校名による位置のみを示したものです（校名は統合前の名称です。）。


○校舎改修（学舎改修）



○校舎改修（名陵中学校普通教室棟 2階）



○備品（学園旗）



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費				38,913		
主要な経費	工事請負費			25,000		
	備品購入費			6,736		
	その他（委託料・消耗品等）			7,177		
財源	国庫・県支出金			10,100		
	市債			9,000		
	その他特定財源					
	一般財源			19,813		

事業名	特別支援教育支援員配置事業		
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費		
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成		
担当課名	学校教育課	開始年度	平成19年度

◆事業の概要

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を充実させ、きめ細かな教育を推進するため、障害のある児童生徒の就学支援体制の確立とともに、特別支援教育支援員の配置体制の充実を図る。

本市の特別支援学級在籍児童生徒数は5年間で約1.6倍に増加しており、障害のある児童生徒の発達の段階に応じた指導及び支援を行うため、小・中学校に特別支援教育支援員を配置するもの。

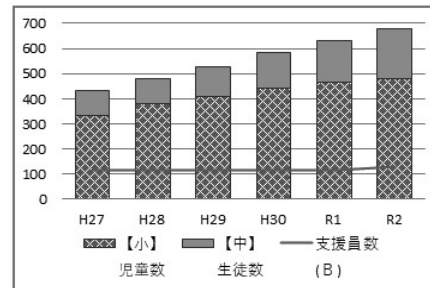
◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
特別支援教育支援員1人あたりの特別支援学級在籍児童生徒数（5月1日時点）	人	5.6	4.7	4.7	4.0

◆参考情報

特別支援学級 在籍児童生徒数 及び 特別支援教育支援員配置数（5月1日時点）

	児童生徒数		合計 (A)	支援員数 (B)		指標 (A/B)
	【小】 児童数	【中】 生徒数		【小】 児童数	【中】 生徒数	
H27	334	98	432	113		3.8
H28	379	101	480	117		4.1
H29	406	120	526	116		4.5
H30	440	144	584	116		5.0
R1	463	170	633	113		5.6
R2	480	199	679	130		5.2
〈参考〉R3.131現在				143		4.7



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		105,511	146,243	135,713	未定	未定
主要な経費	報酬	105,511	146,243	135,713		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		30,000			
	一般財源	105,511	116,243	135,713		

事業名	小・中学校体育館照明LED化事業		
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費		
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上		
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

水俣条約に基づき、2021年以降水銀を使用した製品の製造、輸出、輸入が原則禁止となる。
また、体育館の高天井照明器具の製造も中止となっているため、体育館の高天井照明器具のLED化を推進するもの。

【令和2年実施 安岡小学校】



◆施設の概要、計画等

■対象施設及び事業内容

小学校33校、中学校19校の体育館高天井照明器具LED化工事

■スケジュール

	R2	R3	R4	R5	R6	計
小学校	8校	5校	7校	7校	6校	33校
中学校	6校	4校	3校	2校	4校	19校
計	14校	9校	10校	9校	10校	52校

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			49,500	38,500	38,500	38,500
主要な経費	工事請負費		49,500	38,500	38,500	38,500
財源	国庫・県支出金					
	市債		44,500	34,600	34,600	34,600
	その他特定財源					
	一般財源		5,000	3,900	3,900	3,900

事業名	菊川中学校体育館建替事業		
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費		
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上		
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

平成30年度に実施した耐震二次診断・補強計画策定業務にて、遅れ破壊の対象高力ボルトF11Tの使用が確認されたことから、耐震補強とは別に安全確保、倒壊防止の観点から高力ボルトの取替工事が必要となることが判明した。
 これにより、当初計画での耐震補強の事業費を大幅に上回り、新築建替と耐震補強工事の費用が同規模となり、長寿命化の事業費も勘案すると新築建替のトータルコストが安価となることから、体育館の建替工事を実施するもの。

【現況】



◆施設の概要、計画等

■施設の現況

現在：鉄骨造2階建 1,393.99㎡ S51竣工
 建替後：鉄骨造2階建 約800㎡

■事業スケジュールと全体事業費

(単位：千円)

項目	R2	R3	R4	合計
地質調査・構造計算委託	12,000			12,000
建替工事		31,000	233,000	264,000
解体工事			67,720	67,720
事務費		200	1,300	1,500
合計	12,000	31,200	302,020	345,220

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			12,000	31,200	302,020	
主要な経費	委託料		12,000			
	工事請負費			31,000	300,720	
	事務費			200	1,300	
財源	国庫・県支出金			6,440	70,942	
	市債			11,500	127,600	
	その他特定財源 (基金繰入金)		12,000			
	一般財源			13,260	103,478	

事業名	小・中学校メンテナンス推進事業（長寿命化）		
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費		
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上		
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

小・中学校の老朽化した校舎等の施設の長寿命化を実施し、小・中学校の機能や性能を引き上げるための環境整備を行うことにより、安全・安心を確保するもの。

◆施設の概要、計画等

■対象施設

建築後40年以上経過し、今後30年以上使用するもの。
構造体の劣化状況等の調査を行い、長寿命化改修ができるもの。

■工事内容

構造体の劣化改修、水道、電気、ガス管などのライフラインの更新など

■事業スケジュールと全体事業費（R2～ 勝山中学校 特別普通教室棟ほか）
（単位：千円）

項目	R2	R3	R4	R5	合計
長寿命化調査（老朽化調査）	10,000	10,000	10,000		30,000
実施設計		20,000	20,000	20,000	60,000
改修工事			372,222	367,502	739,724
合計	10,000	30,000	402,222	387,502	829,724

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			10,000	30,000	402,222	387,502
主要な経費	委託料		10,000	30,000	30,000	20,000
	工事請負費				372,222	367,502
財源	国庫・県支出金				130,638	130,000
	市債			18,000	235,400	231,700
	その他特定財源 （基金繰入金）		10,000			
	一般財源			12,000	36,184	25,802

事業名	しものせき 夢冒険 チャレンジキャンプ開催業務		
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 青少年対策費		
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成		
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

日常生活を離れ自然の中での失敗や未知の経験をすることで、子どもたちの好奇心・探求心を高め、生き抜く力を身につけることを目的とし、専門的な知識を持ったスタッフによる指導の下、野外教育活動プログラムを実施するもの。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
参加人数	人	38	50	50	50

◆参考情報

事業内容：野外教育活動プログラム 2泊3日キャンプ
 ・野外での知識や技術を学ぶ
 ・自然の中で課題にチャレンジ
 ・体験活動を通じた人間関係づくり など
 対象：50名程度（市内在住の小学校4～6年生）
 場所：深坂自然の森など



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		1,000	1,000	1,000		
主要な経費	委託料	1,000	1,000	1,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,000	1,000	1,000		

事業名	豊田生涯学習センター耐震補強・外壁改修工事		
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 生涯学習施設費		
総合計画の体系	第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供		
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

耐震診断により豊田生涯学習センターが必要な耐震性能を有していないという結果が出たため、耐震補強工事の実施と併せて、老朽化により多数発生している剥落箇所や亀裂箇所等の外壁改修工事を実施する。

亀裂箇所



剥落箇所



◆施設の概要、計画等

施設名： 下関市豊田生涯学習センター

建設年度： 昭和54年度 竣工（昭和54年8月）

築年数： 築41年

主体構造： RC造 3階建 延床面積 2,510.65㎡

改修内容： 耐震補強工事及び外壁改修工事

計画： 令和2年度 契約締結
 令和3年度 工事施工、竣工 } 2年総額300,000千円で債務負担行為を設定

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費				141,000		
主要な経費	工事請負費			137,246		
	事務費			3,754		
財源	国庫・県支出金			10,000		
	市債			131,000		
	その他特定財源					
	一般財源					

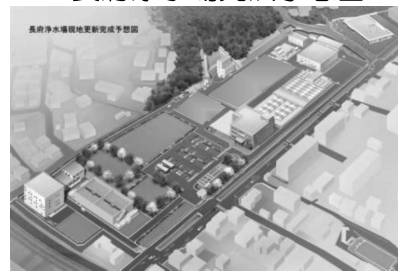
上下水道局

事業名	長府浄水場更新事業		
予算区分	水道事業会計	水道事業費用	営業費用 浄水費
	水道事業会計	資本的支出	建設改良費 長府浄水場更新事業費
総合計画の体系	第6章 第4節 上水道の整備		
担当課名	浄水課	開始年度	平成22年度

◆事業の概要

長府浄水場は、下関市の約80%の浄水を担う市内最大の浄水場であるが、築後70年以上経過し、施設の老朽化が顕著に表れている。このため、安定供給のための施設能力向上と併せ、事故や災害に強い施設とするために、DBO方式により更新事業を行う。

長府浄水場完成予想図



◆施設の概要、計画等

●事業計画

- 事業期間 平成22年度～令和26年度
- 浄水処理方法 生物接触ろ過（上向流）＋凝集（＋粉末活性炭）＋沈殿＋急速ろ過
※事業者提案とし、凝集＋沈殿＋急速ろ過は必須とする。
- 計画浄水量 88,000m³/日
- 令和2年度の入札中止を受け、事業期間、浄水処理方法、計画浄水量を変更

●事業概要

- 【令和元年度・令和2年度実績（見込）】
長府浄水場更新事業に係る公民連携支援業務
- 【令和3年度】
長府浄水場更新事業に係る公民連携支援業務
- 【令和4、5年度（予定）】
長府浄水場更新事業に係る公民連携支援業務
長府浄水場更新事業（設計業務）
土木、建築工事（浄水施設）
既存施設撤去工事

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		13,176	147,263	38,485	195,818	1,188,365
主要な経費	長府浄水場更新事業費	13,176	146,157	37,265	195,176	1,188,175
	その他（事務費等）		1,106	1,220	642	190
財源	国庫・県支出金					
	市債		142,700		129,900	1,109,000
	その他特定財源	13,176	4,563	38,485	65,918	79,365
	一般財源					

事業名	水道施設の老朽施設更新事業		
予算区分	水道事業会計	資本的支出	建設改良費 水道施設整備事業費 老朽管更新事業費
総合計画の体系	第6章 第4節 上水道の整備		
担当課名	上水工務課・北部事務所	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

水道管の破損事故を未然に防ぎ、安全、安定、安心な給水体制を維持するため、経年劣化した導水管、送水管及び配水管の更新を実施する。また、豊田地区の95%の浄水を担う榑原浄水場は、施設の老朽化が進み、安定した浄水処理が困難となっているほか、求められる耐震性を満たしていないため、事故や災害に強く安全で安心できる施設に更新する。

管の布設替工事



◆施設の概要、計画等

●送水管の更新

(1) 長府浄水場～日和山浄水場間の送水管更新

○事業期間：平成28年度～令和6年度

○更新進捗率：83.4% (令和2年度末見込) 90.7% (令和3年度末予定)

(令和3年度) φ600mm送水管布設工事 管延長637m

(2) 長府浄水場～長府配水場間の送水管更新 (φ400、φ800mm)

○事業期間：令和元年度～令和6年度

○更新進捗率：32.1% (令和2年度末見込) 52.1% (令和3年度末予定)

(令和3年度) φ400mm送水管布設工事 管延長320m

●配水管の更新

豊北町大字角島仮畠地区100mm配水管布設工事ほか1件 管延長180m

●榑原浄水場更新事業

○事業期間：平成28年度～令和4年度

○計画浄水量：2,400m³/日

(令和3年度) 機械設備工事、電気設備工事、天日乾燥床築造及び造成整備工事

第2水源取水ポンプ室建築工事、工事監理業務

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		990,381	670,461	743,103	596,008	523,737
主要な経費	送水管の整備	424,611	454,549	439,421	551,290	487,827
	配水管の整備	234,370		30,360	9,750	30,360
	榑原浄水場更新	331,400	204,486	267,083	29,390	
財源	国庫・県支出金					
	市債	345,400	602,100	711,300	480,700	
	その他特定財源	644,981	68,361	31,803	115,308	523,737
	一般財源					

事業名	水道施設の耐震化事業		
予算区分	水道事業会計 資本的支出 建設改良費 耐震化事業費		
総合計画の体系	第6章 第4節 上水道の整備		
担当課名	上水工務課	開始年度	平成24年度

◆事業の概要

平成30年度に策定した「重要給水施設管路耐震化計画」及び平成27年度に策定した「水道施設等耐震化事業計画」に基づき、事故や災害に強く安全で安心できるライフラインとしての水道施設を確保するため、重要給水施設に供給している配水管及び主要配水池（5,000m³以上）を対象として耐震化を推進する。

ダクタイル鋳鉄管（耐震継ぎ手）



日本ダクタイル鉄管協会提供

◆施設の概要、計画等

●管路の耐震化

【水道管路耐震化事業計画】

- 事業期間：令和3年度～令和22年度
- 耐震化延長：約40.2km
- 耐震化進捗率：6.6%（令和3年度末予定）
（令和3年度）φ400mm配水管耐震化工事等 管延長2,441m

●施設の耐震化

【水道施設等耐震化事業計画】

- 事業期間：平成28年度～令和4年度
- 耐震化容量：46,000m³（長府配水場1～4号配水池、彦島配水場、熊野配水場）
- 耐震化進捗率：78.3%（令和3年度末予定）
（令和3年度）水道施設耐震化補強工事（彦島配水場）実施設計業務

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		279,234	931,049	1,048,375	1,105,311	1,047,629
主要な経費	管路の耐震化	154,395	583,836	996,936	818,049	761,755
	施設の耐震化	124,839	345,396	41,816	285,153	283,679
	その他（事務費等）		1,817	9,623	2,109	2,195
財源	国庫・県支出金	14,598	14,456	25,725	25,777	25,112
	市債	259,400	740,900	1,014,000	1,077,600	1,020,200
	その他特定財源	5,236	175,693	8,650	1,934	2,317
	一般財源					

事業名	下水道施設の未普及対策事業		
予算区分	公共下水道事業会計 資本的支出 建設改良費 管渠布設費・処理場築造費		
総合計画の体系	第6章 第5節 下水道等の整備		
担当課名	下水道整備課・北部事務所	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

下水道処理人口普及率が未だ全国平均に達していない現状を踏まえ、下水道施設の10年概成を目標に、さらに整備を推進し、市民へ周辺環境の改善やトイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境を提供するとともに、汚水処理による公共水域の水質保全を図る。



※下関市新下水道ビジョン目標値

(最終目標年次：令和9年度)

- ・下水道処理人口普及率 83.3%
(令和3年度見込み：78.4%)

◆施設の概要、計画等

●令和3年度事業概要

- 管渠整備 山陰処理区、山陽処理区、川棚小串処理区
整備面積 26.5ha
管渠整備 6.7km
吉田汚水1号幹線布設工事 前田汚水1号幹線布設工事
吉田圧送2号幹線布設工事 王喜汚水3号幹線布設工事
- 処理場整備 山陰終末処理場沈砂しき処理棟機械設備工事 (令和3・4年度継続事業)
山陰終末処理場沈砂しき処理棟電気設備工事 (令和3・4年度継続事業)
山陰終末処理場沈砂しき処理棟建築付帯機械設備工事
山陰終末処理場機械濃縮棟電気室建築工事

◆予算情報

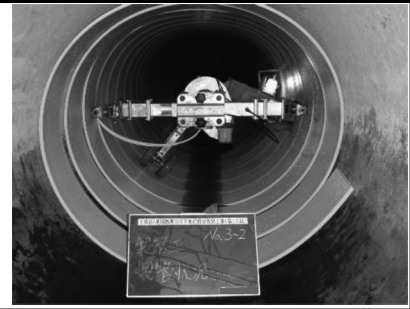
(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		3,436,732	2,851,260	1,995,594	3,190,223	3,190,223
主要な経費	施設工事費	3,260,275	2,709,420	1,911,727	2,988,228	2,988,228
	委託料	152,839	107,734	49,335	150,455	150,455
	その他(補償費、事務費)	23,618	34,106	34,532	51,540	51,540
財源	国庫・県支出金	1,175,351	1,180,670	721,540	1,301,865	1,301,865
	市債	2,133,417	1,539,472	1,128,700	1,834,349	1,834,349
	その他特定財源	127,964	131,118	145,354	54,009	54,009
	一般財源					

事業名	下水道施設の改築・耐震化事業		
予算区分	公共下水道事業会計 資本的支出 建設改良費 管渠布設費・処理場築造費・ポンプ場築造費・雨水渠布設費		
総合計画の体系	第6章 第5節 下水道等の整備		
担当課名	下水道施設課・北部事務所	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

下水道施設の老朽化による事故や機能停止を未然に防ぐため、施設管理の基本方針を取りまとめた「下関市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、計画的に点検・調査を行い、更新又は長寿命化対策の方法で改築工事を実施し、不良箇所対策と施設の耐震化を図り、持続的な下水道機能の維持に努める。



◆施設の概要、計画等

●令和3年度事業概要

- 管渠整備 管渠改築工事（筋ヶ浜処理区） 延長711m
マンホール蓋改築工事（筋ヶ浜・山陰処理区） 61か所
管渠改築実施設計業務（筋ヶ浜処理区）
管路施設点検調査業務（彦島処理区）
- 処理場整備 マンホールポンプ取替業務（川棚小串処理区、豊田・豊北地区）7台
電気設備工事（彦島終末処理場） 計測設備他
改築実施設計業務（彦島・山陰終末処理場）
機械設備調査業務（山陰終末処理場）
汚水ポンプ取替業務（豊田浄化センター）1台
- ポンプ場整備 電気設備工事（福浦中継ポンプ場、他5か所）
改築実施設計業務（宮の下中継ポンプ場 他1か所）
機械設備調査業務（本村中継ポンプ場 他1か所）
- 雨水渠整備 改築実施設計業務（小月排水ポンプ場）

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		375,112	162,511	226,096	811,050	809,268
主要な経費	施設工事費	358,305	117,276	144,105	746,660	744,878
	委託料	16,340	44,845	81,636	64,000	64,000
	その他（事務費）	467	390	355	390	390
財源	国庫・県支出金	139,989	59,700	58,220	415,350	415,350
	市債	125,351	47,200	113,900	383,650	383,650
	その他特定財源	109,772	55,611	53,976	12,050	10,268
	一般財源					

事業名	浸水対策事業		
予算区分	公共下水道事業会計 資本的支出 建設改良費 雨水渠布設費・営業設備費		
総合計画の体系	第6章 第5節 下水道等の整備		
担当課名	下水道整備課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

近年増加傾向にある集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、市内浸水常襲地域での着実な対策の実施に取り組む。

※下関市新下水道ビジョン目標値
 (最終目標年次：令和9年度)
 ・浸水対策整備率 65.9%
 (令和3年度見込み：49.8%)



◆施設の概要、計画等

●令和3年度事業概要

- 江の浦排水区、綾羅木第1排水区、豊浦第1排水区、小月第1排水区、東新田排水区、川棚川左岸第2排水区において引き続き雨水渠布設工事の実施

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		586,070	199,578	293,445	399,218	399,218
主要な経費	施設工事費	509,871	142,890	216,700	362,370	362,370
	委託料	58,928	39,820	28,897	24,570	24,570
	その他(補償費、用地費、事務費)	17,271	16,868	47,848	12,278	12,278
財源	国庫・県支出金	198,835	38,000	72,675	195,000	195,000
	市債	295,196	145,659	202,500	203,550	203,550
	その他特定財源	92,039	15,919	18,270	668	668
	一般財源					